

《担当者名》 松尾淳司 幸村 近 田中真樹 遠藤輝夫、吉田 繁 丸川活司 坊垣暁之 小野誠司 近藤 啓 江本美穂
高橋祐輔 高橋祐司 山崎智弘 沖野久美子 藏満保宏 黒澤隆夫 鈴木喜一

【概要】

1 - 4年生で学んだ知識および技術を基盤として、臨床検査学に関する基礎、臨床、応用的な研究に取り組む。医学研究における臨床検査の位置づけを理解し、研究に取り組む姿勢、研究目的を達成するための実験計画の作製、研究データの解釈と処理方法、研究成果の発表方法（学会発表、論文作成）を学び、プレゼンテーションおよびディスカッションから研究の意義と問題点について考察する力を養う。本セミナーでは1) 学術論文の検索方法、2) 学術論文抄読、3) 実験計画書作成、4) 調査・研究、5) 実験ゼミ、6) 発表スライド作製・発表を行い研究方法について学習する。学科の全教員が担当する。

【学修目標】

- 1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけるために、臨床検査に関する研究を遂行できる。
- 2) 臨床検査学領域における様々な課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる。
- 3) 研究計画に基づいて研究を遂行できる。
- 4) 得られた結果から、適切に結論を導くことができる。
- 5) 研究成果を論文にまとめることができる。
- 6) プレゼンテーション資料を作成し発表できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ） 135	研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究計画に基づいた調査ならびに実験 ・ データ分析 ・ 研究内容の要旨の作成 ・ プレゼンテーション資料作成 ・ 発表 <p>キーワード：論文抄読、データ解析、資料作成、発表</p>	全教員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

研究への積極的な参加 60% 発表 40%

【学修の準備】

与えられた課題を事前に調べておくこと。（80分）

学習した部分について理解しておくこと。（80分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP1）生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。

（DP2）臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

（DP3）保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。

（DP4）臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に興味を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

（DP6）臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。

【実務経験】

幸村 近（医師）、田中真樹（歯科医師）、遠藤輝夫（臨床検査技師）、吉田 繁（臨床検査技師）、丸川活司（臨床検査技師）、坊垣暁之（医師）、小野誠司（臨床検査技師）、近藤 啓（臨床検査技師）、高橋祐輔（臨床検査技師）、高橋祐司（臨床検査技師）、沖野久美子（臨床検査技師）、藏満保宏（医師）

【実務経験を活かした教育内容】

実務経験を活かし、臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対する適切な分析方法ならびに的確な判断の仕方を教授する。